

# 市民記者が行く！ 広報サポーターレポート



## 三河湾に浮かぶ自然豊かな島 写真でつづる佐久島紀行



広報サポーター  
三浦允之さん(細池町)

幼少期に訪れたことのある思い出深い佐久島を久し振りに訪れて、美しい島の景色を堪能しました。そのときのことをレポートします。

西港から西北端の波ヶ崎へ回ると、自然が造り出した素晴らしい海岸線が広がっていました【①】。そこから西地区の集落へ行く途中で弁天サロンに立ち寄り、相川光江さんからお茶のサービスを受けました【②】。佐久島の現状など、世間話をしながら、くつろいだひとときを過ごしました。

黒い外壁の家が建ち並ぶ西地区の集落を通り抜け、南浦の海岸に出ました。海岸線に沿って大明神の方へ進むと、立派な石造りのベンチがありました【③】。人影はなく、ひっそりとしていました。やがて、ここも観光



スポットになることでしょう。そこから北上し、島の東西を結ぶフラワーロードへ出ると、沿道にはスイセンが随所に咲いていて、気を和ましてくれました。

クラインガルテンを左に見ながら東へ進み、東港に立ち寄ると、ナマコ漁から帰港された鈴木和男さんと由美子さんご夫妻に出会いました【④】。冬から春先にかけて、ナマコ漁が盛んだそう。船上にはきれいな色をしたナマコが水揚げされています。ナマコの身はコリコリしていて、独特の食感があります。また、酒好きには腸を塩漬にした「このわた」でしょう。鈴木さんご夫妻に別れを告げた後、大島へ向けて堤防を進むと、途中で火力発電所の煙突がそびえ立っているのが見えました【⑤】。大島を一巡した後にイーストハウスに立ち寄ると、若者たちが沈んでいく太陽を追っていました【⑥】。帰りの時刻も迫ってきたので、夕景をカメラに収めて【⑦】渡船に乗り、心地良い疲労感を味わいながら、佐久島に別れを告げました。

私は写真が趣味で、美しい景色を求めて遠方にも出掛けますが、市内にもすてきなスポットがたくさんあります。これから四季折々の景色などを、カメラに収めたいと思います。

広報サポーターは公募により選ばれた市民記者です。これからも市民の目線で市内各地のイベントなどを取材していただきます。